



愛知淑徳大学

平成28年度第1回 文学部講演会  
中古文学会五十周年記念連携企画

演題： 書物としての源氏物語


講師： 三田村 雅子 フェリス女学院大学名誉教授

日時： 2016年7月14日(木)4限  
15:10～16:40

場所： 愛知淑徳大学 長久手キャンパス  
7号棟 741 教室

企画・運営： 国文学科・国文学会

担当 ワクダ 笹田 将樹(2832)



文学部講演会講師

平成 28 年度第 1 回

三 田 村 雅 子 氏

〔略歴〕

1948 年、東京都生まれ。

1979 年、早稲田大学大学院日本文学専攻博士課程満期退学。

早稲田大学助手、フェリス女学院大学教授、同付属図書館長、上智大学教授を経て、現在はフェリス女学院大学名誉教授。

日本文学協会委員長を務め、現在は中古文学会常任委員。

専門は中古文学。特に『源氏物語』『枕草子』。

〔主要著書〕

『枕草子 表現の論理』（有精堂出版、1995 年）

『源氏物語 感覚の論理』（有精堂出版、1996 年）

『源氏物語 物語空間を読む』（ちくま新書、筑摩書房、1997 年）

『草木のなびき、心の揺らぎ 源氏物語絵巻を読み直す』（Ferris books、2006 年）

『源氏物語 天皇になれなかった皇子の物語』（とんぼの本、新潮社、2008 年）

『記憶の中の源氏物語』（新潮社、2008 年）

『源氏物語 紫式部』（NHK「100 分 de 名著」ブックス、NHK 出版、2015 年）